

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●小林真也調教師がJRA初勝利をあげる

3月21日(日)の2回中京4日・第8レースではウェイヴァリーが1着となり、同馬を管理する小林真也調教師(栗東)は、今年3月13日の初出走から数えて延べ8頭目でJRA初勝利をあげました。

●森一馬騎手が通算100勝、松山弘平騎手が通算800勝を達成

3月20日(祝・土)の2回中山7日・第10レースとして行われた韓国馬事会杯ではマサハヤニースが1着となり、同馬に騎乗した森一馬騎手(栗東・松永昌博厩舎)は、現役94人目となるJRA通算100勝(1512戦目)を達成しました。翌21日(日)の2回中京4日・第5レースではパナブリが1着となり、同馬に騎乗した松山弘平騎手(栗東・フリー)は、史上56人目、現役では29人目となるJRA通算800勝(9635戦目)を達成しました。

●小島茂之調教師がJRA通算300勝を達成

3月20日(祝・土)の2回中山7日・第5レースではカルタゴが1着となり、同馬を管理する小島茂之調教師(美浦)は、現役62人目となるJRA通算300勝(延べ4025頭目)を達成しました。

●リバティハイツらの競走馬登録抹消

2018年報知杯フィリーズレビュー(GII)の勝ち馬リバティハイツ(牝6歳/栗東・高野友和厩舎/JRA通算22戦3勝)、2018年函館2歳S(GIII)の勝ち馬アスターベガサス(牡5歳/栗東・中竹和也厩舎/JRA通算9戦2勝)、2019年中日新聞杯(GIII)の勝ち馬サトノガーネット(牝6歳/栗東・矢作芳人厩舎/JRA通算27戦5勝)は、2月25日(木)までに競走馬登録を抹消されました。リバティハイツは北海道千歳市の社台ファーム、サトノガーネットは北海道安平町の追分ファームで繁殖馬となり、アスターベガサスは福島県飯館村の馬・デイズクラブで乗馬となる予定です。

●ジャングルポケットとネオユニヴァースが死亡

2001年に東京優駿(日本ダービー・GI)とジャパンカップ(GI)を制したジャングルポケット(牡23歳)は、3月2日(火)、繋養先である北海道日高町のブリーダーズスタリオンステーションで死亡しました。2003年の皐月賞(GI)と東京優駿(日本ダービー・GI)を制したネオユニヴァース(牡21歳)は、3月8日(月)、繋養先である北海道新ひだか町のレックススタッドで死亡しました。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●来年のJBCは盛岡競馬場で実施、JBC2歳優駿は門別

2022年の第22回JBCは、11月3日(祝・木)に盛岡競馬場で開催されることが決定しました。盛岡でのJBCは2002年、2014年に続く3度目で、JBCクラシックは2000^円、JBCスプリントは1200^円、JBCレディスクラシックは1800^円となります。また、JBC2歳優駿は、同日に引き続き門別競馬場で実施されます。

●飛燕賞は鹿児島産馬テイエムサツマオー【各地の主要3歳重賞】

飛燕賞(3月7日、佐賀、1400^円)は、先手を取った5番人気のJRAからの移籍馬テイエムサツマオー(牡、父テイエムオペラオー)が後続を半馬身振り切って逃げ切り勝ち。単勝1.6倍で断然人気の花吹雪賞馬トゥルスウィーは3着でした。東海地区デビュー馬限定戦の中京ベガスターC(3月9日、名古屋、1600^円)は、4番手から3、4コーナー中間で先頭に立ったブンブンマル(牡、父ナムラタイタン)が6馬身差で圧勝、単勝1.1倍の圧倒的支持に応じて新春ベガスターC、スプリングCに続く重賞3連勝を達成しています。

※最新の開催情報は各主催者のホームページ等でご確認ください。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●チェルトナムフェスティバル～女性騎手が開催リーディング

イギリス障害競馬の最高峰で、14のG1をまとめて行うチェルトナムフェスティバルが3月16日から19日にかけてイギリスのチェルトナム競馬場で開催され、開催最多勝騎手にアイルランドをベースに活躍する女性のレイチェル・ブラックモア騎手(31歳)が輝きました。女性騎手がリーディングを獲得するのは史上初めてのことです。ブラックモア騎手は今年のフェスティバルで20回騎乗して6勝。初日のメインレースであるG1チャンピオンハードル(芝3280^円、8障害)をハニーサックル(牝7歳、父スラムニ、愛H.デプロムヘッド厩舎)で制して同レース史上初となる女性騎手による優勝を成し遂げるなど5つのG1を制しました。

●香港ダービー～スカイダーシが優勝

3月21日に香港のシャティン競馬場で行われた香港ダービー(香港調教の4歳馬限定、芝2000^円)は中国の内ラチ沿いでレースを進めたスカイダーシ(騾4歳、父ダーシブラーマ)が直線で早めに先頭に立つと、ロシアンエンペラーの追い上げをアタマ差退けて優勝しました。鞍上のJ.モレイラ騎手は2017年のラッパードラゴン以来となるこのレース2勝目。管理するC.ファウンズ調教師も2010年のスーパーサテン以来の2勝目となりました。